

三井情報、米 Aviz Networks とリセラー契約を締結 - AI 時代の事業拡大を支えるオープンネットワーク運用基盤を支援 -

三井情報株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:真野 雄司、以下 三井情報)は、Aviz Networks, Inc.(米国、以下 Aviz 社)と 2026 年 6 月にリセラー契約を締結しました。Aviz 社は、データセンター、エッジ環境、AI ファクトリーにまたがるネットワークの構築、可視化、運用を支援する、AI 駆動型かつベンダーニュートラルなネットワークソフトウェアを提供しています。

本契約により三井情報は、Aviz 社が提供するネットワーク運用基盤「ONES(Open Networking Enterprise Suite)」、生成 AI を活用した運用支援基盤「Network Copilot」、およびネットワーク運用業務向け AI エージェント群「Aviz AI Agents」の販売ならびに導入支援を開始します。ライセンスの提供から設計・構築・導入支援までを一貫して行うことで、特定のベンダーに依存しない、柔軟性と拡張性を備えたオープンネットワーク運用基盤の実現を支援します。



■背景

生成 AI の普及や大規模データ処理需要の拡大を背景に、データセンター事業者や通信キャリアではネットワーク設備の増強やサービス基盤の拡大が進んでいます。一方で、従来の専用機器を中心としたネットワーク環境では、設備増強に伴うコストや運用負荷の増加、特定メーカー製品への依存が課題となっています。

こうした中、機器とネットワーク OS を自由に組み合わせられる「オープンネットワーキング」が注目されています。特に汎用ハードウェアに任意のネットワーク OS を搭載できるホワイトボックススイッチと、オープンソースのネットワーク OS である SONiC(*1)は高い拡張性とコスト効率を備えていますが、導入や運用には高度な専門知識が求められるため、多くの企業にとって導入のハードルとなっています。

■Aviz ソリューションの特長

Aviz ソリューションは、複数のハードウェアベンダーにまたがる AI ファクトリーネットワーク(*2)、データセンターネットワーク、エッジネットワークの導入・運用を支援します。

- **ONES(Open Networking Enterprise Suite)**: 複数のハードウェアベンダーにまたがるネットワークのオーケストレーション、可視化、監視を一元的に提供します。設定の自動化とトラブルシューティングの簡素化により、手作業を削減し、ネットワークの拡張時にも一貫した運用を支援します。また 24 時間 365 日の専門サポートにより、SONiC 運用に必要な技術的課題にも対応します。
- **Network Copilot™**: 大規模言語モデル(LLM)(*3)を活用し、既存インフラやツールのデータを利用した業務を支援する、AI 搭載型のネットワーク運用プラットフォームです。自然言語での対話を通じて、問題調査、設定確認、レポート作成を支援します。
- **Aviz AI Agents**: Network Copilot 上で動作する、用途別に設計されたワークフローです。ネットワークやシステムのデータをリアルタイムに分析し、情報収集や定型作業を自動化することで、運用担当者の負荷軽減を支援します。

これらにより、専用機器中心の構成からホワイトボックススイッチ+SONiC によるオープンネットワーキングへの移行が容易になり、コスト最適化と柔軟な拡張を両立できます。特に、事業拡大に伴いネットワーク規模を拡張中のデータセンター事業者・通信キャリアにとって、将来の需要変化に対応しやすい基盤構築が可能になります。

■三井情報が提供する価値

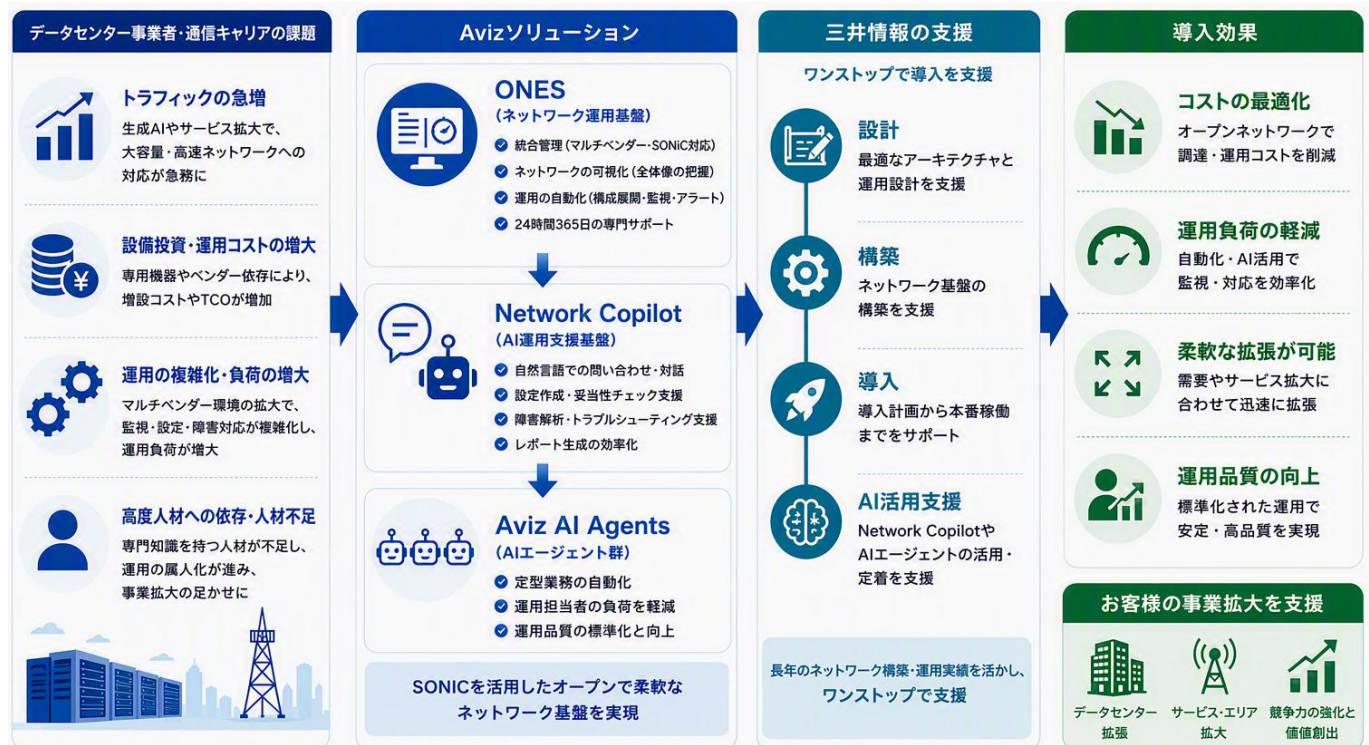
三井情報は、Aviz ソリューションのライセンス提供に加え、設計・構築・導入支援までをワンストップで提供します。長年にわたり培ったネットワーク構築・運用の知見を活かし、お客様がオープンネットワークのメリットを最大限活用できる環境づくりを支援します。お客様は運用負荷を抑えながら、事業成長に合わせて柔軟に拡張できるオープンネットワーク運用基盤を構築することが可能になります。

■今後の展望

三井情報は今後、データセンター事業者・通信キャリアを中心に Aviz ソリューションの提供を推進します。ネットワークの大規模化、運用負荷の増加、人材不足といった課題に対し、オープンで特定ベンダーに依存しない基盤と AI 活用の運用支援を提供することで、お客様の事業拡大と競争力強化に貢献していきます。

また、今後蓄積する導入知見・運用ノウハウをもとに、エンタープライズ分野への展開も視野に入れています。三井情報は Aviz 社とともに、AI 時代で変化の激しい市場環境に柔軟に対応できるオープンネットワーク運用基盤の普及を通じて、お客様の継続的な事業成長を支援していきます。

AI 時代の事業拡大を支えるオープンネットワーク運用基盤イメージ



(※1) SONiC (Software for Open Networking in the Cloud) : Microsoft が主導するオープンソースのネットワーク OS です。ホワイトボックススイッチ上で動作し、オープンネットワーキングの中核技術として利用されます。

(※2) AI ファクトリーネットワークとは、AI モデルの学習や大規模な推論を高速かつ効率的に実行するため、数千～数万基の GPU 同士を超高速度・低遅延で結ぶ次世代のネットワーク基盤です。

(※3) 大規模言語モデル (LLM: Large Language Model) : 大量のテキストデータを学習し、自然言語の理解・生成を行う AI 技術です。生成 AI の基盤技術として利用されます。

■Aviz 社 共同創業者 兼 CEO Vishal Shukla 様のコメント

AI ファクトリーの構築、ネットワーク帯域の強化、そして AI を活用した運用効率化に至るまで、私たちは今、インフラ変革を決定づける時代にいます。Aviz は、AI ファクトリーネットワーク、データセンターネットワーク、通信ネットワークにおけるこの変革を牽引しています。Aviz のプラットフォームはオープンスタンダードを基盤とし、最新のベンダー技術を組み合わせ、さまざまなベンダーやインフラ環境で動作します。三井情報はこのビジョンを共有しており、同社のネットワークエンジニアリングの専門性と日本市場への深い理解は、これらの機能を日本で提供するうえで重要なパートナーとなります。両社は、より多くの選択肢、制御性、確信を顧客に提供し、AI 時代に向けたネットワークのモダライゼーションを支援してまいります。

以上

【関連ページ】

Aviz Networks 製品ページ: <https://www.mki.co.jp/solution/product/aviz/index.html>

【Aviz Networks, Inc.について】

Aviz Networks は、AI 時代に対応したオープンネットワークソリューションを提供する企業です。SONiC や NVIDIA Cumulus を活用したネットワーク基盤、ネットワーク監視・可視化機能、AI による運用自動化技術を通じて、企業の AI 基盤構築とネットワーク運用の高度化を支援しています。

ホームページ: <https://aviznetworks.com/>

【三井情報株式会社について】

三井情報株式会社 (MKI) は、『ナレッジでつなぐ、未来をつくる』をパーパスに掲げ、ICT を基軸とした事業を通じて、社会やお客様の課題解決に取り組んでいます。第八次中期経営計画においては、「進化」と「コラボレーション」を通じて「残すに値する未来」を築くことをあり姿とし、これまで培ってきた技術や知見を活かしながら、ステークホルダーと共に新たな価値の創出に取り組んでいます。

ホームページ: <https://www.mki.co.jp/>

※三井情報、MKI 及びロゴは三井情報株式会社の商標または登録商標です。

※本リリースに記載されているその他の社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

三井情報株式会社

広報・ブランディング推進室

TEL : 03-6376-1008 E-mail : press-dg@mki.co.jp

【本製品サービスに関するお問い合わせ先】

三井情報株式会社

営業統括本部 マーケット統括部

E-mail : aviz-admin-dg@mki.co.jp